

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ガード下排水施設等維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南流山駅前及び中・駒木線ガード下道路	意図	市道106号線及び市道114号線の鉄道交差部に設置した排水ポンプの適切な維持管理により、大雨時の冠水・被害発生を防止する。
事業内容	・JR武蔵野線と市道106号線が交差する南流山駅地先ガード下及び、東武アーバンパークラインと市道114号線が交差する流山おおたかの森駅地先に設置された雨水排水ポンプを適切に維持管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・TXの建設で、JR武蔵野線と交差する南流山駅地先ガード下の市道106号線（南流山・芝崎幹線）の復旧に併せ、排水施設を設置。流山3号雨水幹線の整備も並行して完成した他、東武アーバンパークラインと交差する流山おおたかの森駅地先ガード下の市道114号線（中・駒木線）にも設置。通行量の増加を見極め、これに合わせた不測の事態への対応が必要となる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数	0	0	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果	・台風等による集中豪雨時における道路冠水を防止し、通行の危険性を排除することで、安全で円滑な供用ができる。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・排水ポンプのオーバーホールによる適正な管理により、大雨時の冠水・被害発生を防止できた。
	事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,179,000	4,300,200	4,046,700			
事業費(b)(円)		2,106,000	2,041,200	1,987,200			
うち一般財源		2,106,000	2,041,200	1,987,200			
職員給与費(c)(円)		2,073,000	2,259,000	2,059,500			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	・降雨時等突発的な災害時に適正にポンプが作動するよう、点検及び中・駒木線に設置してある排水ポンプのオーバーホールを実施する。	取組の課題	・ポンプ室の湿度が高く、施設の腐食度が進む恐れがある。
今年度(H28)に実施した取組	・台風等の降雨が予想された場合は事前にパトロールを実施した。また、排水ポンプのオーバーホールを実施したことにより、適正な排水機能を確保した。	今後の改善計画	・H28年度に引き続き残り2台の排水ポンプのオーバーホールを実施する。